

救急安心カードの利用方法

使い方

- 高齢者や障害者などの安全、安心を確保するため、万一の救急時に備えます。
- **氏名、生年月日、住所、電話番号、かかりつけ医、既往歴や持病、飲んでいる薬、緊急連絡先**等を記入します。
- 冷蔵庫に磁石などで留めておきます。



救急時には・・・

- 119通報時は、カードの内容を慌てずに伝えます。
- 救急隊は、冷蔵庫に行けば患者情報がわかるので、色々なところをさがす手間が省けます。
- 患者の意識が無くても、患者情報がわかります。

病気やけが等で困った時？

- 救急車を呼ぶか迷った時。
- 夜間に子どもの病気などで相談したい時。



ここが安心！！

- 持病や飲んでいる薬等の医療情報がわかれば、搬送先の決定や適切で敏速な処置が行えます。
- 万が一の時、緊急連絡先がわからなければ、近所の人や民生委員等が家族や身内を探さなければなりません。緊急連絡先を記入しておけば、素早く連絡が取れます。